

内容(予は要予約)	とき		対象(対は対象)
母子保健 (記事ID 1100) HPを見る	親子健康手帳交付	13日(木) 9:45集合 28日(金) 13:30集合	妊婦
	パパママ教室(1回目)	13日(木) 10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
	予 パパママ教室(2回目) ※予約は土日のみ	8日(土) 9:15受付~11:30終了 26日(水) 13:15受付~15:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫
	予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
	こんにちは赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者 (里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)
	転入者予防接種等説明会	6日(木) 10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯 (健康推進課窓口等で転入手続きした人を除く。)
	のびのび 保健センター 計測日※1 青少年児童センター	6日(木) 10:15~10:45受付 21日(金) 10:00~10:30受付	未就園児 ※1医師の診察はありません。 [持] 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
	予 離乳食教室	18日(火) 10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
	予 妊産婦産科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。	妊婦と産後1年未満の産婦
	予防接種 (記事ID 1192) HPを見る	BCG接種	11日(火) 9:15~10:15受付 28日(金)
予 B型肝炎			対 生後1歳未満
予 ヒブ、小児用肺炎球菌			対 生後2~60月に至るまで
予 4種混合、不活化単独ポリオ			対 生後3~90月未満
予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独			対 第1期:生後12~24月未満 第2期:小学校入学前の1年間
予 水痘			対 生後12~36月未満
予 日本脳炎			対 1期:生後6~90月未満、2期:9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
予 二種混合			対 小学6年生
予 子宮頸がんワクチン			対 小学6年生~高校1年生の女子
厚生労働省の勧告を受け、積極的な接種の勧奨を一時的に差し控えています。			
成人健診 (記事ID 7147) HPを見る	予 特定健康診査 がん検診(胸部・胃・大腸・前立腺)	3日(月)、4日(火)、5日(水)	市国民健康保険加入者で40~74歳の人 (検診によって対象制限あり)
	予 集団がん検診 (胸部・胃・大腸・前立腺)	14日(金)、21日(金)、22日(土)	市国民健康保険加入者以外で40~74歳の人 (検診によって対象制限あり)
	予 個別特定健康診査		市国民健康保険加入者で40~74歳の人
	予 後期高齢者医療健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください ※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	後期高齢者医療制度加入者 (H31年3月31日までに75歳になる人を含む)
	予 個別がん検診※ (胸部・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人 (検診によって対象制限あり)
	予 子宮検診	7日(金)	20歳以上の西暦偶数年生まれの女性 (昨年度受診していない西暦奇数年生まれの方も可)
	予 個別子宮検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください。	
	予 乳腺検診	19日(水)、20日(木)	40歳以上の西暦偶数年生まれの女性 (昨年度受診していない西暦奇数年生まれの方も可)
	予 個別乳腺検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください。	
	予 集団大腸・喀痰検診	25日(火)	40歳以上の人
歯周病検診	1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください。	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳の人	
体成分分析装置測定会	随時(日時要相談)	市内在住の人	

9月の納期一覧

納期限(10月1日)までに納めてください

税目	納期	問合せ先
国民健康保険税	第3期	収納課 ☎56-0610
後期高齢者医療保険料	第3期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日引落しますので残高を確認してください。納付は便利な口座振替を利用してください。※市税については、パソコン、スマートフォンからクレジットカード納付もできます。

休日・夜間診療案内

東名古屋医師会休日急病診療所 ☎0561-73-7555 (記事ID 1197)

診療時間	9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)	HPを見る
診療科目	内科・小児科	
所在地	日進市蟹甲町中島22 (中央福祉センター内)	

夜間の急病・ケガは下記に問い合わせを

救急医療情報センター ☎0561-82-1133

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。

まず、電話で相談してください。

☎62-3311 (代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費(5,400円)が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学へお問い合わせください。

まちの保健師 HPを見る (記事ID 10608)

保健師が様々な場所に出向き、健康相談をお受けします。気軽にご相談ください。詳しくは市ホームページにてご確認ください。



ドクターからあなたへ

網膜裂孔

ながくて眼科 竹内 紀一郎医師

網膜は目の奥にある組織で、カメラでいえばフィルムといえます。網膜に孔が開いたり、裂け目ができたりした状態が「網膜裂孔」です。網膜裂孔は、網膜の変性や萎縮、後部硝子体剥離が関係しています。硝子体とは、眼球の内部にあるゲル状の組織で、99%の水とコラーゲン線維などでできています。加齢と共に萎縮し、網膜から剥がれていきます。これを後部硝子体剥離といいます。誰にでも起こりえる生理的な加齢変化ですが、その際に網膜が強く牽引されて、網膜に孔が開いてしまうことがあります。その網膜裂孔から硝子体内の水分が入り込み、網膜が剥がれてしまうことがあります。これが裂孔原性網膜剥離です。視力低下や視野異常が現れます。

網膜裂孔は自覚症状がないこともありますが、出血を伴うと、糸くずのようなものがちらついて見える「飛蚊症」を自覚することがあります。また、後部硝子体剥離の際に網膜が牽引され、それが刺激になり、真っ暗な所でも光を感じる「光視症」を自覚することもあります。治療ですが、網膜裂孔にはレーザー治療、網膜剥離には手術が選択されることが多いです。

早期発見が大切なので、飛蚊症や光視症を自覚されたら、眼科での検査をお勧めいたします。散瞳薬を点眼し瞳孔を広げてから、眼底検査をすることが一般的です。